

取組の成果（効果）『考える』

(1)自分たちがきれいにした場所が後日汚れていたら憤りを感じている。

「なんできれいなところを汚すの?」「自分たちが掃除した場所が汚されることが信じられないし、腹が立つ」など

(2)神辺町地域住民や地域ボランティアの方々からよく連絡がある。挨拶をよくしてくれる、国道沿いがきれいになった等→集会で生徒に報告している。(いいところはとことんほめる)

(3)地域商店や住民から工芸品の作り方を教わったり、歴史建造物の紹介を受けたり、休憩にお茶を出しただけだったり、神辺高生として地域社会とコミュニケーションの場がとれるようになった。また、お礼に育てたバラを頂いたりしている。

(4)生徒が神辺高生としての自覚が芽生えた。(→登下校時に挨拶をさらに積極的にできるようになった。指導を受けた生徒が「やってよかった。地域の方の対応がうれしかった」など意義を感じていた)

(5)地域の方々が苦情や意見も率直に学校に伝えることができるようになった。

(6)地域の祭りや商店街行事に招かれることが増えた。(神辺公民館まつり、神辺夢フェスタなど)



【クリーン活動（平成27年）】

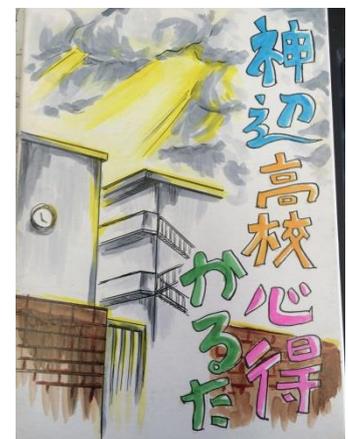
今後の展開『考えさせる→考える』

すべてを教員側で決めて指示しない。目的を与え、そのために手段を生徒達に考えさせて実践させる。自ら考えた行動は失敗しても決して否定しない。「気づく」「考える」「行動する」を自分達でできるようにする。(きっかけを与える「仕掛け」は行う)

特別な指導を受けたことがある生徒が変われば、周囲の生徒へ影響を与える。生徒が変われば教員が変わる。全員が変われば学校が変わる。それぞれが自分達の役割を認識して行動する。

他校へのアドバイス『地域の特徴を把握する』

神辺高校周辺は新興住宅が少なく、昔から神辺に根差している住民が多い。また旧商店街や歴史的建造物も点在しており、その特色を活かした教育活動を取り入れている。具体的には、総合的な学習の時間等を用いて神辺町探索(各寺、神社、廉塾、旧街道等)、美術選択者による神辺マップ、神辺かるたの制作、食品選択者による神高まんじゅう作製など。各校、地域の特性や地理的状况を活かし、工夫を凝らした地域貢献を行うことが可能である。



【神辺高校心得かるた】